

Research Skills/Career Sheet (part 1)

ワークショップ終了後、Research Skills/Career Sheet (part 1)とResearch Skills/Career Sheet (part 2)は回収します。イベント主催者がシートの記入内容をデジタル化し、ResearchOpsチームがデジタル化された情報を整理してオープンソースとして公開します。

リサーチの経験年数： _____

現在のポジションでの経験年数： _____

役職名： _____

企業のタイプ (1つ○): _____ エージェンシー・コンサル / フリーランス / 事業会社 / 官公庁

社内のリサーチャーの人数： _____ (もしリサーチャーなしで、あなたがデザイナー兼リサーチャーならを記入)

企業規模—従業員数 (1つ○): _____ (オフィスの人数ではなく、会社全体での規模を教えてください)

1人です！ / 2-10 / 11-20 / 21-50 / 51-100 / 101-500 / 501-1,000 / 1,001+

企業のリサーチの習熟度 (一番近いと思うものに1つ○):

なし / Laggard / Early / progressing / Mature / わからない

あなたが今メインで取り組んでいる仕事はどんな仕事ですか？ _____

ResearchOpsのSlackコミュニティには入っていますか？ _____ 入っている / 入っていない / 申込済み

あなたの組織はキャリアやスキルアップの明確な仕組みがありますか？ ある / ない / 企業に所属していない

あなたの組織ではリサーチオペレーションに対して手厚いサポートがありますか？ ある / ない / 企業に所属していない

現在、リサーチャーとして目指している具体的な目標や次のキャリアはありますか？ ある / ない / わからない

(もし具体的に目指すものがあるなら それに向けて、今取り組んでいることはどんなことですか？

Research Skills/Career Sheet (part 2)

ワークショップの最後に記入してください。

ワークショップ終了後、Research Skills/Career Sheet (part 1)とResearch Skills/Career Sheet (part 2)はファシリテーターに渡してください。

専門スキル—数字 & 文字のついたスキルに対してコード(例, 101)を記入してください。

現職で最も重要なスキル: 1. _____ 2. _____ 3. _____

最も役に立つ/憧れるので身につけたいと思う専門的スキル: A. _____ B. _____ C. _____

その他: _____

ヒューマンスキル—1-5の点数を記入してください。; 最も伸ばしたいと思っているスキルに一つ○をつけてください。

ビジネス & 戦略の理解:	_____	リサーチオペレーションのスキル:	_____
デザイン、開発、PMなどとの連携:	_____	リサーチの専門スキル:	_____
組織内における影響力:	_____	説得 & ストーリーテリング:	_____
サービスコンセプトの理解:	_____	社内の人脈:	_____
ステークホルダーマネジメント/ コミュニケーション:	_____	外部の人脈:	_____
プロジェクト管理/ リサーチ成果に対する裁量:	_____	マインドフルネス:	_____
リサーチプロセスの管理:	_____		

自由回答

リサーチャーとして仕事をしていて一番大変なことは何ですか? _____

次に探索してみたいことは? どんなことにワクワクしますか。 _____

次のステップに進むために、具体的に何ができるだろう? _____

何か他にシェアしたい考え / 気づき / 心配なことはありますか?

専門スキル: ワークシート #1

1. 過去3ヶ月でプロジェクトで使ったスキルに○をつけてください。他の人に教えられる&説明できるスキルには、☆も一緒につけてください。
2. 今の仕事で最も重要なスキルを 3つ選び、“1, 2, 3”の番号を振ってください。
3. リサーチャーとして成長するために最も役に立つ・身につけたいと思っているスキルを 3つ選び、“A, B, C”のアルファベットを記入してください。

リサーチの「問い」を立てる

- | | | | |
|------|-------------------------|------|----------------------------------|
| 501. | チームのニーズから「問い」を立てる | 505. | 顧客 / ユーザーグループ / アドバイザーのパネルを作る |
| 502. | ステークホルダーにインタビューする | 506. | 顧客対応チームと協業する (営業、カスタマーサポート、コンサル) |
| 503. | 課題発見ワークショップを実施する | 507. | 他の部署・チームと関係を構築する |
| 504. | プロダクトロードマップのプランニングに参加する | 508. | リーン・仮説出しワークショップを実施する |

リサーチプランを作成&周知する

- | | | | |
|------|-----------------------------------|------|---------------------------|
| 301. | リサーチプロジェクト全体の設計 | 308. | 外部のベンダーやプロバイダーと協業する |
| 302. | リサーチの「問い」を基に調査計画を立てる | 309. | β版プロダクトのテストを準備する |
| 303. | リサーチ対象者の条件を設定 / スクリーナーを作成する | 310. | プロジェクトの状況や進捗をチーム外に伝える |
| 304. | サーベイ/アンケートを設計する | 311. | 他の人に評価/検証型リサーチの方法を教える |
| 305. | ステークホルダーキックオフ/アサンプションワークショップを実施する | 312. | ヒューリスティック評価を実施する |
| 306. | 現行プロダクトのA/Bテストを実施する | 313. | カードソーティングなど情報設計のリサーチを準備する |
| 307. | 数値化した指標を設定する (例: NPS) | 314. | リサーチ参加者の分類、セグメント分けをする |

リサーチを実施する

- | | | | |
|------|----------------------------------|------|---------------------------|
| 101. | リサーチ参加者を集め、日程や場所を調整する | 108. | カードソーティングなど情報設計のリサーチを実施する |
| 102. | ユーザーインタビューの実施 [一般的なもの] | 109. | 探索的 / 非構造化リサーチを実施する |
| 103. | ユーザビリティテストを実施する | 110. | フィールド / 観察リサーチを実施する |
| 104. | モデレーターはいないユーザー / ユーザビリティテストを準備する | 111. | 日記調査を含む縦断的なリサーチを実施する |
| 105. | 発言録を取る、録画 / 録音を行う | 112. | アクセシビリティ評価を行う |
| 106. | リモートユーザビリティテストを実施する | 113. | プロトタイプ / コンセプトテストを実施する |
| 107. | オズの魔法使い形式のテストを実施する | | |

結果の分析

- | | | | |
|------|-----------------------------|------|----------------------------|
| 201. | ローデータを管理・整理する | 205. | 発見事項のグルーピングをするワークショップを実施する |
| 202. | 速報、トップラインのデブリーフィングを実施する | 206. | 定性データを自由に・問いを立てずに分析する |
| 203. | ビデオを見てユーザビリティテストの評価 / 分析をする | 207. | ユーザビリティテストの報告書を作成する |
| 204. | プロジェクト横断的にインサイトを集め、ライブラリ化する | 208. | 定量データを自由に・問いを立てずに分析する |

結果のシンセシス

- | | | | |
|------|-----------------|------|-------------------------------|
| 401. | 概念モデルをつくる | 405. | ペルソナなど、行動のアーキタイプを作成する |
| 402. | サービスブループリントをつくる | 406. | JTBD手法などを使って、ユースケースを洗い出す |
| 403. | ジャーニーマップをつくる | 407. | リサーチ結果を統合し、意味を見出すワークショップを実施する |
| 404. | メンタルモデルをつくる | 408. | アナリティクスと定性調査を組み合わせる |
| | | 409. | 数量モデルをつくる |

落とし込み・フォローアップ

- | | | | |
|------|------------------|------|---------------------------|
| 601. | 調査結果をプレゼン / 共有する | 606. | 継続的 / 定期的なユーザー調査の仕組みを確立する |
| 602. | 開発サイクルにリサーチを組み込む | 607. | 高速反復的なテストサイクルを準備する |
| 603. | 組織全体に調査結果を共有する | 608. | JIRAなどのシステムで 이슈を追跡する |
| 604. | リサーチの価値を広める | 609. | 組織全体に対するユーザーニーズをモデル化する |
| 605. | デザインスプリントを実施する | 610. | プロダクトやデザインの戦略・アプローチを策定する |

その他: _____

ヒューマンスキル: ワークシート #2

それぞれの項目について、1-5をつけてください。1がわからない・全く実行していない、5はよく理解している・実行している、です。

ビジネス & 戦略の理解 — 自社は何をしようとしているか？リサーチャーはそれに対してどんな行動をするか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

デザイン、開発、PMなどとの連携 — サービス提供部門はどのように連携しているか？リサーチはどこにフィットするか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

組織内における影響力 — どうやったらリサーチの価値を広められるか？どこで、誰が影響力を持っているか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

サービスコンセプトの理解 — サービス / プロダクトの根底にあるスコープ / 構造は何か？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

ステークホルダーマネジメント / コミュニケーション — すべてのチームに適切な情報を伝えるにはどうしたらよいか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

プロジェクト管理 / リサーチ成果に対する裁量 — 成果を出すためにどのように協業するか？なぜか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

リサーチプロセスの管理 — サービス/組織のニーズに合わせるためにリサーチをどのように設計/応用するとよいか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

リサーチオペレーションのスキル — 組織のリサーチ力を上げるために、オペレーションの体制作りをどうしているか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

リサーチの専門スキル — リサーチの計画、実施、分析、結果をまとめるにはどうしたらよいか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

説得 & ストーリーテリング — どのようにリサーチ結果をプロダクト / サービス開発の文脈に落とし込んでいるか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

社内の人脈 — 組織横断的な関係・人脈をどれくらい築けているか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

外部の人脈 — リサーチ・デザインなどのコミュニティと、どれくらいつながりを持てているか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

マインドフルネス — 自分の仕事と自分自身の価値を分けられているか？

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

キャリアマップ: ワークシート #3

あなたのリサーチャーとしての成長曲線と、これから行きたい先を描いてみましょう(X軸は他の人との関わりを通じて成長すること(ヒューマンスキル)です、Y軸は「実践」で成長すること(専門スキル)、

